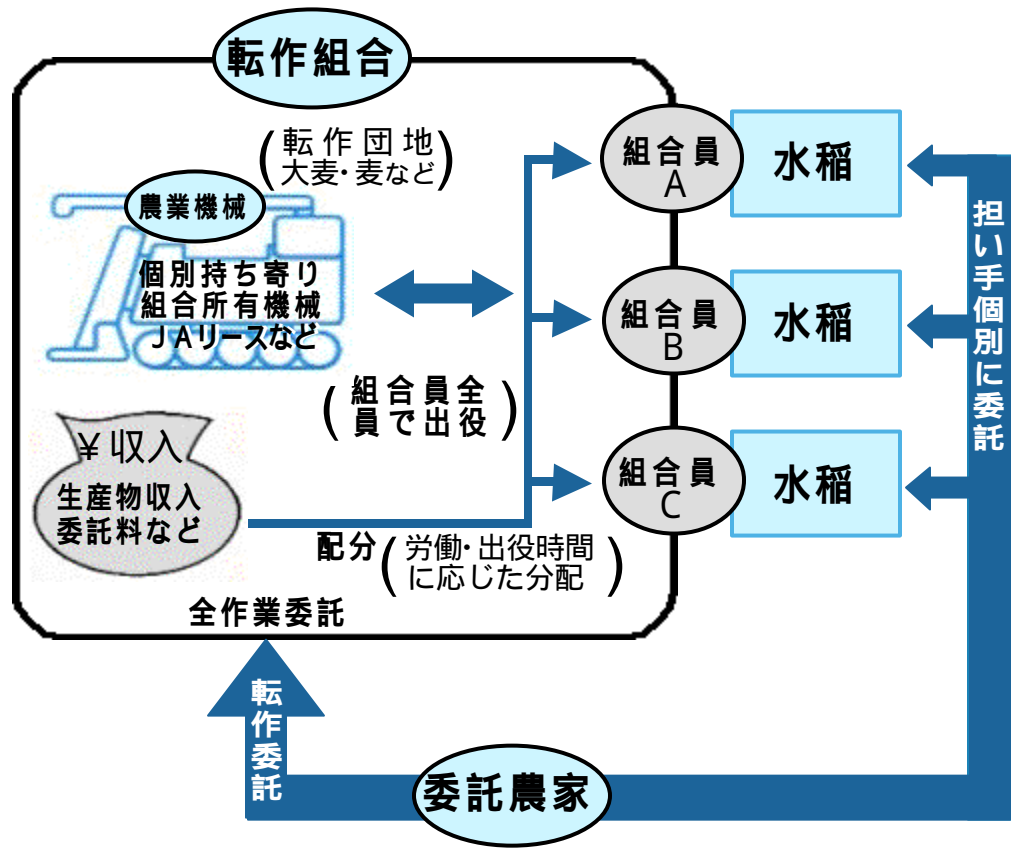


生産組織の形態別特徴図

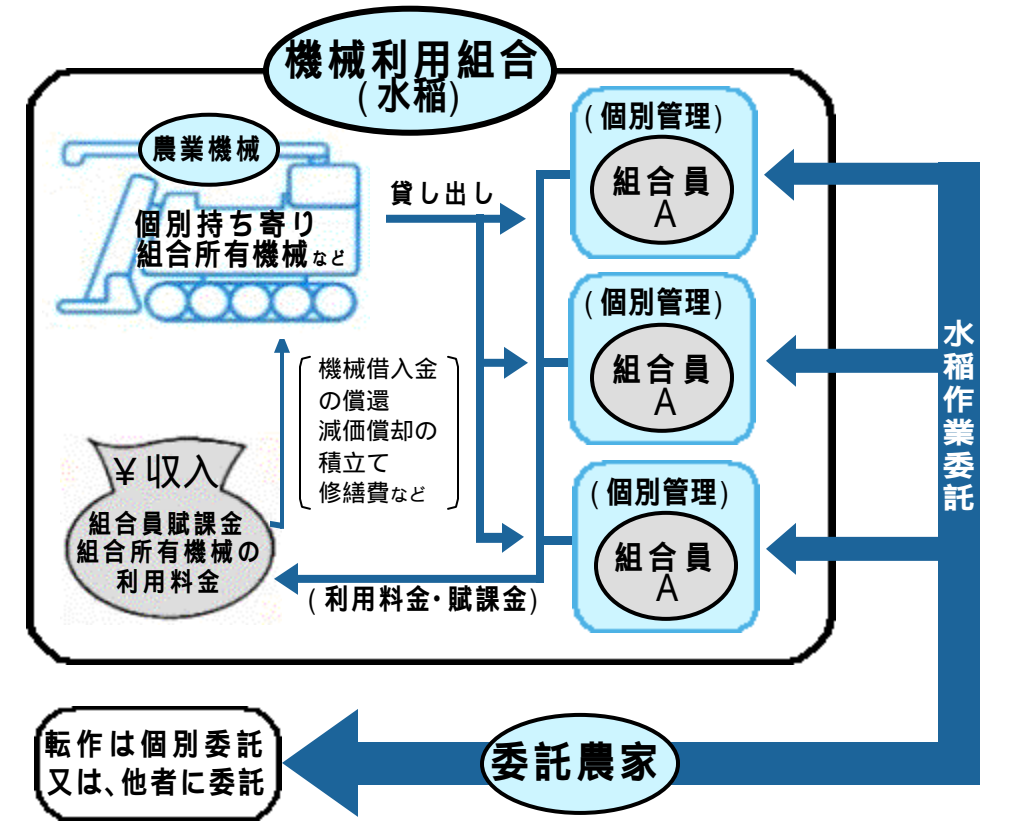
(築館産業振興事務所資料を参考・改良)

転作栽培限定型



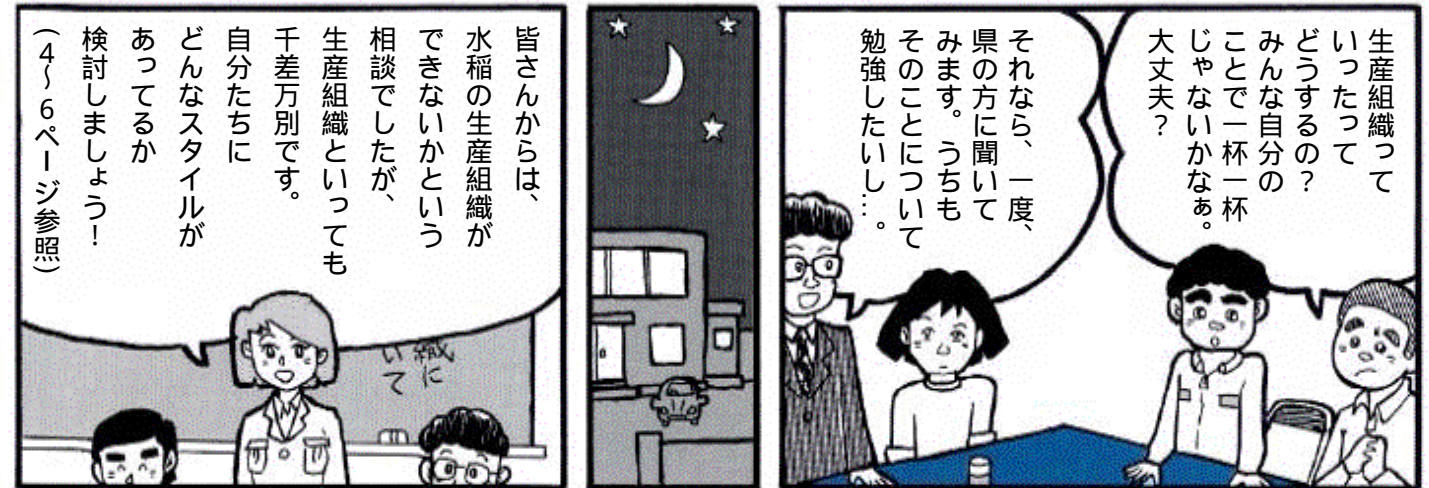
- 長 所**
- 組織化が容易 (転作限定のため)
 - 稲作分野の取り込みが簡単
 - リース等で機械投資抑制が容易
 - 稲作との作業競合が少ない
- 短 所**
- 経営計画が立てにくい (転作面積の変動)
 - 安定した規模がないと過剰投資になりやすい
 - 転作からの所得少ないと栽培管理意欲減退

機械共同利用型



- 長 所**
- 組織化が容易 (機械投資抑制のみ)
 - 自己所有機械を有効利用できる
 - 個別では困難な、補助事業による機械導入が可能
 - 組織による機械管理なので維持管理にかかる経費が明確になる
- 短 所**
- 作業が競合するため作業計画をしっかりする必要がある
 - 故障等、機械の不都合時の責任の明確化が必要
 - 補助事業等で導入して機械管理だけの組織だと機械更新時に解散するケースが多い

大河原さんたちは、この形態を考えています。



大河原さんたちは、この形態を考えています。